

第11号

# 新風会だより

発行：平成23年8月5日

いそぎ陽輔新風会

大分市長浜町 2-12-10

TEL 097(535)8260

<http://www17.ocn.ne.jp/~isozaki/>

## ヨウスケが行く



参議院議員

磯崎 陽輔



こんにちは、磯崎陽輔です。

東日本大震災の犠牲になられた方の御遺族の皆様にお悔やみ申し上げますとともに、被災者の皆様に心からお見舞い申し上げます。

この「新風会だより」の発刊も大幅に遅れてしまいました。震災後の様々な政治的混乱の中で、筆を定め難かったことが最大の理由です。震災発生後、野党は国会を止め、静かに政府の対応を見守りました。しかし、東京電力福島第一原子力発電所の災害は、収束するどころか、一層拡大してきました。3月29日、菅総理が震災後初めて国会で大臣席に座りました。その時に、私が、自民党を代表して、質問をしました。「発電所視察は、政治的パフォーマンスではなかったのか。」という追及は、幾度もニュースで流されました。

政府・民主党の震災対応には、スピード感がありません。まだまだ多くの被災者の皆さんが、体育館などで避難生活を続けられています。がれきの山も、整理こそ進みましたが、処分は全く手付かずです。原子力災害の方も、放射性物質の放出がレベル7であったことや震災当日に既にメルトダウンが生じていたことなどが、随分遅れて発表されました。

そうした中、菅総理のリーダーシップのなさに業を煮やした野党が内閣不信任案を提出し、民主党内のごたごたもあって成立しそうな時期もありましたが、結果的に

否決されました。その後、党内で仲介に入った鳩山前総理が、退陣時期を明確にしない菅総理に対して「ペテン師」呼ばわりするなど、与党内の混乱が続いています。退陣を表明した総理は、一刻も早く退陣すべきです。それにもかかわらず、今度は、小規模ながら内閣改造をするという暴挙に出ました。その上、我が党の参議院議員を一本釣りして政務官に付けるという許し難いことをしてかしました。民主党の皆さんでさえ、このことについては不快感を表明しています。

今後の政局はどうなるか、全く分からない状況です。まず、菅総理に辞めていただかなければ、新しい政治が始まりません。与野党が気持ちよく震災復旧復興関係の仕事に協力できる態勢を早期に作っていく必要があります。

困ったのは、マスコミの報道の在り方です。民主党内のごたごたまでも「政治が悪い」と言って十把一絡げに批判し、挙げ句の果てに「自民党が復旧復興の足を引っ張っている」など全く根拠のない批判までしています。多くの自民党議員が被災地で、そして国会で朝から晩まで復旧復興の仕事に携わっています。復旧復興関係の予算や法案は、多少意見があっても優先的に処理しています。私も、本当に多くの復旧復興関係の議員立法に関わっています。街頭演説で「国会議員は、あんぽんたんばかりではありません。しっかりと仕事をしているので安心してください。」と、訴えています。

まずは、震災の復旧復興を軌道に乗せ、福島第一原発の原子力災害を収束させる目処を付けることが重要です。できるだけ早くそういう状態を作り、その後、民主党政権を解散に追い込み、総選挙を行うべきです。既に、民意は、明らかに民主党から離れています。再び自民党が核となって安定した新しい政治の枠組みを作っていくことが、国民の幸福のために必要です。大分県の皆様、引き続き御支援賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

# 夢を与え未来を創る政治

～いそぎ議員とともに～

## 上山広三



私と磯崎議員との出会いは、平成19年の参議院選挙に向けて磯崎議員が立候補の準備をされている最中のことでした。

日頃から御指導いただいている鈴木郊二さん（日本ユニシス専務）や鈴木さんの友人の芹川光宏さん、そして私の郷里中津市出身の大先輩で、いそぎ陽輔東京後援会会長の秋吉豊治さんなど諸先輩から御紹介をいただきました。磯崎議員の人柄や主張に共感を覚え、更には私と年齢が近かったこともあり大変親近感を覚え、すぐに応援者の一人となりました。

現在、参議院予算委員会理事として精力的に活躍されている姿を拝見して、閉塞感漂う現在の日本を夢が持てる国家に導いてくれる国会議員になってくれるのではないかと、大きな期待を寄せているところです。

私が、磯崎議員に特に共感しているところは、年金改革を含めた財政再建や教育再生への取組です。国民が将来に対し不安を抱えている国家は成長できません。将来に不安があると夢が持てず、チャレンジ意欲も湧かず、後ろ向きになり、所得が貯蓄に回されて消費が伸びずに経済が停滞してしま

ます。

人は生を受け、成長して社会に貢献し自らも一定の蓄えができれば、老後は安心して社会保障が受けられる環境の下で、その蓄えは心豊かに生きて行くための資金として使える国家であってほしいと思っています。また、子ども手当などの「バラマキ」政策は、国民一人一人の自主性や公平性を損なうことになるので、個人への直接支給ではなく、必要な人に必要な環境を整備して支援するべきだと思います。

中長期の政策は、財政再建と年金改革を含む新たな社会福祉政策の道筋を早期に確立することであり、将来に対する国民の不安を取り除くことだと考えます。それと並行して将来の日本を背負って立つ若者を育てる教育や、太陽光発電など自然エネルギー開発の世界最先端国を目指すなど、環境ビジネスや環境問題にも積極的に取り組むことが重要だと考えます。

私の郷里中津藩出身の福沢諭吉先生の著書「学問のススメ」の中には「独立の精神」が謳われています。日本は戦後の経済成長を経て世界を代表する国家になりました。改めて国民一人一人が「独立の精神」に立ち返ることが大事だと強く感じています。

「政治は国民に夢を与えるのが仕事」と磯崎議員は主張されており、私も共感している言葉です。これからも高い志を持って日本の進むべき道を切り開いて行ってほしいと思います。

### 上山広三さん プロフィール

株式会社ネットマークス 常務執行役員  
大分県中津市出身

## 国会 豆知識

### 国会議員の歳費

国会議員の報酬は、特に「歳費」と呼ばれ、現在月額129万4千円です。これが高いかどうか、国会議員の働き振りいかに関わっています。所得税を始め、党から天引きされる額が多く、手取りは、70万円前後でしょうか。現在は、震災後50万円がカットされており、手取り20万円ぐらいしかありません。

国会法第35条は、「議員は、一般職の国家公務員の最高の給与額より少なくない歳費を受ける。」と規定しています。従来これが指定職12号の東大・京大の学長の給与額であ

り、歳費はそれと同額だったのですが、独立大学法人制度ができて国立大学の学長が国家公務員でなくなったことから、現在は旧指定職11号（現8号）の事務次官の給与額が最高額となっています。しかし、歳費は、従来の指定職12号の算定方式に沿って決められています。

大臣や最高裁判所判事を除いても、検事総長、駐米大使、会計検査院長、人事院総裁、内閣官房副長官、内閣法制局長官、宮内庁長官など一般職でない国家公務員の中には、国会議員の歳費よりも高い給与をもらっている人たちもいます。

国家公務員の人件費の2割削減が課題となっています。よく「国会議員はどうするのだ。」と御指摘を受けますが、上記のように国会議員の歳費と国家公務員の給与は連動する仕組みになっているので、国家公務員の給与を引き下げれば、国会議員の歳費も自動的に下がります。「もっと下げる。」という厳しい御意見もあるでしょうが、それをすると、役人の給与の方が国会議員よりも高くなってしまいます。それをどう考えるかということなのです。

ホームページで、活動記録を御覧いただけます。

<http://www17.ocn.ne.jp/~isozaki/>

携帯サイトは、右のQRコードからアクセスしてください。メルマガ会員も、募集しています。





## 大分県の観光について

# DIALOGUE

(社)ツーリズムおおいた会長 西 太一郎

参議院議員 儀崎 陽輔



**儀崎** 私が子供の頃は、別府の町は、浴衣を着て歩く観光客や、温泉旅館で楽しむ家族連れなどであふれていましたが、当時と比べるとそうしたにぎわいは、かなりなくなっているように思います。大分県の観光客の推移はどのようになっていますか。

**西** 統計上では、観光客は増加しています。しかし、観光を取り巻く社会環境は大きく変化しました。当時、海外旅行は大変高価なものでしたが、今では首都圏から大分に出掛ける費用と、ハワイに出掛ける費用は同じということさえあります。大分とハワイを天秤にかけると、現状ではハワイへ足が向くのではないのでしょうか。首都圏からの観光客を増やすためには、ハワイに勝る大分の魅力を開拓することが必要です。また、ここ数年に関して言うと、リーマンショックの影響で一時的に宿泊客は減少したのですが、昨年は例年並みの400万人弱をキープすることができました。ただし、国内客の大半は、福岡を始めとする近県からの観光客です。

**儀崎** 観光をPRしていくうえで、どのような戦略をお持ちですか。

**西** 大分県は、海や山といった豊かな自然に恵まれ、観光地として大変魅力的です。しかし、観光地のイメージが分散化しすぎています。これからは、もっとイメージの統一を図ったPRが必要です。

**儀崎** 具体的には、どのようなことでしょうか。

**西** 観光の究極は「大分県に住んでみたい」と思っていることです。

**儀崎** つまり、観光地にだけ光を当ててるのではなく、自然や生活、歴史といったものすべてを含んだ大分県そのものを前面に出していくべきだということですね。

**西** 旅行観光雑誌「じゃらん」の宿泊満足度調査によると、大分県は、沖縄、京都に次いで北海道とともに第3位にランクされました。この結果から、大分の観光の最大の魅力は、お客様へのおもてなしの心にあることが分か

ります。由布院は、大変な人気スポットとして成功を取りましたが、ただ温泉があるだけでは、これほど成功することはなかったでしょう。「お客様の目線に立って考える」そうした人々の温かい心や風土があってこそ成功です。

**儀崎** 海外では、観光というと街並み散策というイメージが定着しているようです。大分県では、由布院や豊後高田市の昭和の町などがうまく取り入れています。歩いて楽しめる街並みづくりが、今後の観光の主流になってくるのではないのでしょうか。

**西** 観光は、非日常的な驚きをいかに演出するかが重要なポイントです。それは、観光客に強いインパクトを与え、「大分は素敵なおとこだ、もう一度訪れたい」という思い出として刻み込まれます。この記憶が、リピーターの確保につながります。

**儀崎** 大分県は、豊後牛、白杵のふぐ、津久見のまぐろ、関アジ・関サバ、佐伯のすしなどおいしいものがたくさんあります。グルメからのアピールについてはどのようにお考えでしょうか。

**西** 旅先でその土地のおいしいものを頂くのは、最大の楽しみかもしれません。大分のグルメはまだ十分に知れ渡っていないので、今後積極的にPRをしていこうと思っています。

**儀崎** 大分の素晴らしさをより多くの方に知っていただくには、地域が連携して取り組んでいくことも必要ですね。

**西** 県内には国が認定した3つの観光圏があり、地域の特性を生かした事業を展開しています。東九州自動車道、中九州自動車道など交通網の整備も進んでいて、今後は県外からの観光客の底上げも期待されます。各観光圏の取組もますます力が入ってくると思います。

**儀崎** 最後に今後の抱負をお聞かせください。

**西** 大分県が宿泊満足度第3位にランクされた一方で、首都圏における県の認知度は41位でした。「こんな素敵なおとこだ」というイメージをもっともっと全国に向けて強く発信していかなければなりません。そのためには、既存の観光の概念にとらわれず、柔軟な発想を積極的に取り入れながら、大分県観光の発展に努力してまいります。

### 西 太一郎 (にし たいちろう)

昭和13年宇佐市生まれ、東京農業大学農学部醸造学科卒業後、三和酒類(株)入社。

代表取締役社長、会長を経て平成21年取締役名誉会長に就任。大分県酒造組合会長、大分県教育委員長などを歴任。また、大分朝日放送(株)取締役、(株)大分銀行監査役、宇佐市観光協会会長、東京農業大学非常勤講師も務める。大分合同新聞「大分合同新聞文化賞」などを受賞。

# 新風会ひろば

ホームページで、活動記録を御覧いただけます。  
<http://www17.ocn.ne.jp/~isozaki/>  
 携帯サイトは、右のQRコードからアクセスしてください。



ホテル祭で御挨拶



救援募金を呼び掛け



さくらチアーズの皆さんと



大分市明野アクロス前で



車椅子ロボットに試乗



小鹿田焼を語る



国政報告会会場の様子



安住女川町長との面談

**いそぎ陽輔新風会・  
いそぎ陽輔東京後援会御入会のお願い**

磯崎陽輔の活動を応援して下さる方、  
是非御入会をお願いします。  
入会については、右記にお問い合わせください。

- いそぎ陽輔新風会 (TEL 097-535-8260)  
ホームページからのお申込みもできます。年会費は1,000円です。  
下記郵便局の口座までお振り込みください。  
口座番号:01730-4-118483 加入者名:いそぎ陽輔新風会
- いそぎ陽輔東京後援会 (TEL 03-6550-1004)  
年会費は、一口2,000円です。下記郵便局の口座までお振り込みください。  
口座番号:00100-1-743291 加入者名:いそぎ陽輔東京後援会